

Koyo Jr. Monthly Times



和歌山県立向陽中学校

令和3年3月号

卒業式 ～15期生が巣立ちました～

春の暖かさに包まれた20日(土)、15回目の卒業証書授与式を迎えました。天気が心配されましたが、無事に卒業生を送ることができました。鈴木校長先生は、「新しく普通科に入学する200名の同級生と共に、向陽高校を築いてもらいたい」とエールを贈って下さいました。また、在校生代表の中村さんの送辞では、先輩とのエピソードから、先輩への憧れや15期生のような先輩になる決意を伝えました。また、答辞では杉原さんが3年間の思い出を振り返り、共に成長した仲間と支え合いながら、向陽で学んだことを生かしていく決意が述べられました。卒業生合唱の「3月9日」は、マスク着用、ソーシャルディスタンスをとりながら、歌いにくい状況でしたが、感動的な合唱を聴かせてくれました。15回目の卒業式も、みんなの気持ちのこもった良い卒業式となりました。



卒業に向けて、様々な取り組みがありました。2月末には、卒業前ボランティアでお世話になった校舎をきれいにして恩返し。また、今年退職を迎える鈴木校長先生による特別講義がありました。卒業が間近に迫った3月、5月以来延期になっていた修学旅行の代替として、「南方熊楠記念館」と「アドベンチャーワールド」への日帰り旅行に行きました。16日には、「社会人に聴く」と題し本校卒業生で3期生の南村さんから講演をいただくなど、最後まで盛りだくさんの内容でした。今年はコロナ禍ということもあり、例年通りとはいきませんが、多彩な学習の場で得た経験を、未来の自分の力に変えてくれることを願っています。



卒業前ボランティア



校長先生・特別授業



アドベンチャーワールド

中学1年生 高校生に聴く

17日には、中学生1年生を対象に「高校生に聴く」を行いました。13期生(高校2年生)の先輩4名を招いて、「効果的な学習法」や「クラブと学習の両立法」など、中1生の質問に、先輩が答えていくという形式で行われました。中学・高校を乗り切るための、たくさんのヒントを教えていただくことができました。13期生も、すっかり高校生らしく、また先輩らしくなり、的確に答えていく姿に感心しました。17期生もいつか高校生となり、後輩に語ってくれる日を楽しみに待っています。

